

平成28年6月



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会
認定こども園 いちじまこども園

Vol. 26号

〒669-4321
兵庫県丹波市市島町上垣138-1
(☎) 0795-85-2330
(fax) 0795-85-2335
<http://www.ichijima-kodomoen.com>



きょう
からいっぱい
ぶんらしく
っすぐに
いちじま

三ツ塚しようぶ祭りに参加しました

六月十二日に三ツ塚公園で行われた「三ツ塚しようぶまつり」の芝生ステージにまつぼっくり組が出演しました。みんなで力を合わせて楽しんできた歌とダンスを披露しました。お客様を宇宙に引き込むような素晴らしいパワーでした！

折り紙で紙飛行機を飛ばして楽しみながら「ヘリコプターも空飛ぶで」「ロケットは宇宙を飛ぶんやで！」と関心が宇宙へ広がっていききました。「宇宙にはこんな物があるんや」と図鑑を見たり、みんなで見たり、いろんな話を聞いてきました。ロケットを描いたり、作って飛ばしたりもしました。

▼40名で参加する事ができました。



しようぶ祭りが近くなると、「恥ずかしい...」という子もいました。すると友達から「僕が力を貸してあげるから大丈夫やで！」「私も貸してあげるよ！」と励ます言葉が。更に「今、力送るから！」とその友達に掌を向け、自分の力を送り始める姿がありました。友達達の事を気にかけ、一緒に頑張ろう、助け合おうという思いが育っている事が感じられた瞬間でした。



▲みんなでポーズ！決まりました！

みんなで
楽しめたね♪

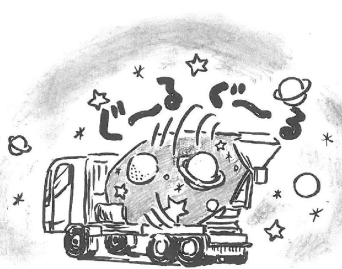


子どもの発想

ステージを宇宙にした
い！と子ども達は色々な
アイデアを考えて出し合
いました。その中のアイ
デア！

『コンクリートミキサー車
を呼んできて、くるくるまわ
る所に色をつけて回したら
土星とか惑星に見えるんち
やう？』

大人にはできない子ども
ならではの発想。大切
にしていきたいです。



倉橋惣三の言葉

我等が子どもに向かつて

希望することのうち、

何よりも一番大切にしている事は

物事本真剣な子供、

本真剣になれる子供になって

もらいたいということである。

「幼稚園雑草」より

(解説)

本真剣、それは「遊び込むこと」、「熱中し、没頭すること」、「集中すること」に、本物の「学び」と生きる力の源があるのです。このような真剣な子どもの表情がたくさん、たくさんありますように。

倉橋惣三(1882-1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子どもの心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じるもの。誘導保育論が特に有名である。

